

別紙1) フィンランド現地における陶磁器の創作活動環境について

【1 陶土材料について】

現地で使用されている陶土はストーンウェア(炆器)が多い。陶磁器材料販売店で取り扱われている種類はストーンウェアを中心に、陶器(楽焼)系などがある。

フィンランドにおける主な陶土の分類は以下の通り。

名称	名称_日本語	焼成温度		配合
ポーセリン	磁器/半磁器	980°	1280-1300°	カオリン 50%/長石 25%/シリカ 25%
ストーンウェア	炆器	940°	1200-1280°	カオリン 5%/粘土 85%/赤粘土 10%
ラク	楽焼	840°	900-1000°	粘土 70%/シャモット 30%
ポーンチャイナ	ポーンチャイナ	1280°	1080°	カオリン 25%/長石 25%/骨灰 50%

(Kwum ギャラリーの展示パネルを参照してまとめたもの)

【2 陶磁器材料の調達方法】

陶土や釉薬などの材料は、ヘルシンキ市内の Septaria という陶芸センター内にある Kerasil という材料店で直接購入、または同店舗のウェブサイトからネットで購入が可能。(詳細は以下の通り)

陶芸用材料店「kerasil」(ケラシル)での取り扱い材料等について

- ・ Kerasil ネットショップウェブサイトの URL→<https://www.kerasil.fi> ※配達も可能とのこと
- ・ Kerasil 実店舗には、陶土は炆器用の陶土を中心に、10 数種類程度の陶土があり、あらかじめ着色された陶土なども販売されている。
- ・ ネットショップ上では、フィンランド産、ドイツ産のものを中心に、240 種ほどの陶土が購入できる。陶土の取り扱いはストーンウェア(炆器)用陶土が多く、次に楽焼用の陶土が多く揃えられている。また、原材料(カオリン、石英、長石など)の取り扱いもある。
- ・ 陶土の価格は、安価な赤土等は 1kg あたり 0.8€程度のものもあるが、一般的なストーンウェア用粘土で 1kg あたり 1.6~2.3€程度。
- ・ 釉薬粉末はストーンウェア用を中心に 1kg あたり 13~20€程度。
- ・ 絵具類は、下絵・イングレイズ用の絵具の販売がある。上絵具はおそらくほとんど使われないため取り扱いは無いようであるが、ネットショップには金彩用の金液 (10%2g 79€≒約 14000 円)、ラスター彩 1 種(パール光沢)(10g12.9€≒約 2300 円)の販売がある。また、着色された化粧土や顔料の販売もある。
- ・ 石膏型用の材料も、ネットショップ上にはひと通り揃っている。石膏(25kg 35€前後≒約 6300 円)や離型剤、石膏原型等の販売もある。

【3 フィンランド現地の各連携先の創作環境・設備について】

【Pot Viapori】

- ・ 派遣者には専用の作業スペースが与えられる。
- ・ 電動ロクロ(回転方向切り替え可)2台/たたら機/電気炉数台/スプレーブース/その他細工用道具などが利用可能。
- ・ 手作業のほか、排泥鑄込み作業は可能。
- ・ 石膏型の作業を目的とした設備(石膏ロクロ、石膏攪拌機、フライス盤)はない。
- ・ デジタル関係の機器(3Dプリンター等)はない。
- ・ Wi-Fi 環境あり。



スタジオスペースの一部



窯などの設備



展示スペースの様子



周辺の自然風景

【Arabia Art Department】

- ・ 派遣者には専用の作業スペースが与えられる。
- ・ 電気炉数台、ろくろ、鋳込み作業場、スプレーブース等が利用可能。
- ・ 広いスペースを必要とする創作作業のための、作業エリアがある(利用については要相談)。
- ・ 石膏作業用の設備(石膏ロクロ、石膏攪拌機、フライス盤)はないが、ある程度石膏を取り扱う環境が整っている。原型制作、型取り程度は可能。
- ・ デジタル機器(3D プリンター)を使用したい場合は、同建物内のメトロポリア応用科学大学の協力により、機器の使用が可能(要相談)。
- ・ Wi-Fi 環境なし。



スタジオの建物内の様子



鋳込み作業スペースの様子



電気炉などの設備



スタジオ内作業スペースの一部

※資料の内容は、2025年の調査当時の内容のため、状況により変更している場合があります。
※詳細については現地レジデンスチームに相談・調整していただくこととなります。